

佐々木敦史のドイツ生活日記



【日本人学校の行事 運動会】

小学部、中学部、補習校合同で紅白に分かれ競う運動会。補習校の授業は毎週土曜日のみに行われるので普段顔を合わせることはないが年に一度、唯一の合同行事が運動会。合同練習なしのぶつつけ本番で、本番まで勝負がわからないのでなかなか面白い。



【日本人学校の行事 学校祭】

1日目は体育館ステージで小さな児童の可愛い劇、中学部の歌など学年ごとに発表する。2日目は4年生以上が教室を装飾し、喫茶店やお化け屋敷などを発表する。父母会も手作り手芸販売や着物の着付け体験などを行い、地元の人でも大勢来てくれる。



【日本人学校の行事 修学旅行】

中学部2年生の修学旅行はドイツの首都ベルリン、ポツダム、ワイマールへ3泊4日で行われる。ブランデンブルク門やユダヤ人強制収容所などを見学する。小学部は南部の主要都市ミュンヘン方面で行われる。



【日本人学校の行事 ニッダウォーク】

北海道と似た気候のドイツ。地元の人々は春の訪れを楽しみにしている。そんな暖かな春の陽気の中、ニッダ川沿いを中学部学年縦割りでチームを編成し、交流しながら歩く。水鳥、ビーバー、ウサギもいて自然豊かなドイツを体感できる。



【日本人学校の行事 ソフトボール交流】

ドイツに野球文化はほとんどない。サッカーグラウンドは沢山あるが野球場は皆無。スポーツ店でも野球道具は扱っていない。そんな中、貴重なソフトボール部を持つ学校と交流親善試合を毎年行っている。涙あり、笑いありで、なかなか白熱した試合展開に。